

コンバインド検査開始のご案内

当院ではこれまで、NIPTや初期超音波検査など、各種の出生前検査を提供してまいりましたが、今回あらたにコンバインド検査を開始いたしましたのでご案内申し上げます。

【概要】

コンバインド検査とは、妊娠11週から13週末の妊婦に対し、超音波検査と母体血清マーカー測定を組み合わせることにより、胎児染色体異常のリスクを算出する非確定的検査です。従来当院で実施していた、妊娠初期超音波検査による観察項目（NT、鼻骨、三尖弁逆流、静脈管血流の観察）に加え、母体血清マーカー（PAPP-A、free hCG-β）測定を併用することにより、超音波のみの場合と比較しより高精度に胎児染色体異常（ダウン症、18トリソミー、13トリソミー）のリスクを算出します。

【方法】

妊娠初期超音波検査の当日に、母体採血を実施します。検体は外部測定機関に送付し、通常であれば採血翌日に結果が判明します。結果判明後（通常は超音波検査後3日目頃）に妊婦さんに再度ご来院いただき、コンバインド検査としての結果をご説明いたします。

【予約】

検査実施の日時を電話にてご予約いただきます。胎児心拍動が確認され分娩予定日が決定された後、妊娠12週0日から13週4日までの期間に検査が実施できるようご予約ください。（妊娠11週0日から13週6日の間が検査可能時期となっておりますが、胎児発育の状態等によりこの期間内でも検査が実施できないことがありますので、基本的には上記期間にご予約いただきますようお願いいたします。）

予約電話番号：

042-314-3141（月曜～金曜 9:00～16:00）

【注意事項】

本検査は、初期超音波検査＋母体血清マーカーの組合せで実施いたします。初期母体血清マーカーのみでのリスク算出は実施しておりません。また、超音波検査はNT、鼻骨、三尖弁逆流、静脈管血流波形をリスク算出用のマーカーとして用いております。NTと血清マーカーのみを用いてのリスク算出も可能ではありますが、それによる費用の減額等はいたしておりません。なお従来から実施していた初期超音波検査のみによるリスク評価も引き続きお受けいたします。

詳細につきましては、産婦人科 吉田または小野までお問い合わせ下さい。

超音波検査



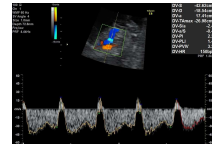
NT



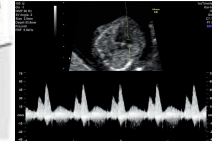
鼻骨



その他の形態異常の有無



三尖弁逆流



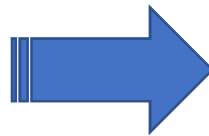
静脈管血流



血液検査



超音波検査当日に採血



PAPP-A
free hCG-β
外部機関へ送付し測定



結果説明



ダウン症、18トリソミー、13トリソミー
のリスク評価

胎児形態観察の説明

今後推奨される検査 など

